

軽量電動シャッター

プラテアⅡ外置電動タイプ

SB形 開閉機

停電時の手動操作について



警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから通常の電動操作を行ってください。やむをえず手動で操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

- 高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
- 点検口を開けるときに、チェーンが落下してきて頭に当たったり（チェーン式の場合）、ほこりが落ちてきて目に入ったりのことがあります。気を付けて開けてください。
- シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると大変危険です。
- 操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前に制御盤のブレーカまたはシャッターの電源を切ってください。

お願い

- チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）によりシャッターを開放するときは、巻き上げ過ぎないようにしてください。無理に上限いっぱいまで開放すると、座板がシャッターケースやまぐさにあたり、故障や破損をするおそれがあります。また、閉鎖するときも下げ過ぎないようにしてください。故障の原因となります。
- 操作終了後は、操作用具をもとの状態に戻してください。

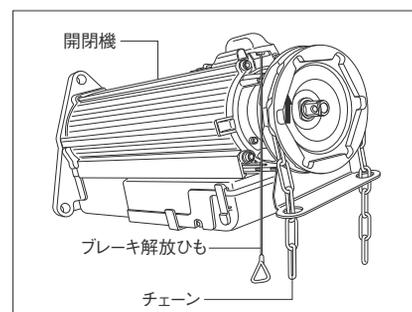
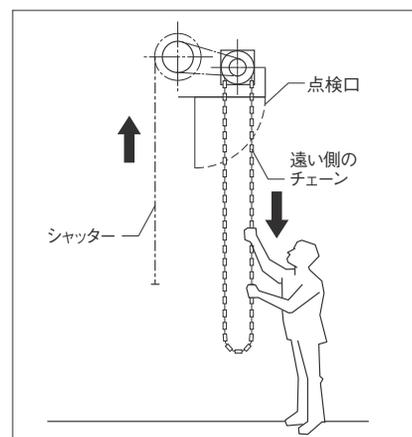
■チェーン式の場合

シャッターを開放するとき

- (1) 天井またはケースの点検口を開けてください。
※チェーンの落下に気をつけてください。
- (2) チェーンを伸ばし、シャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが上昇します。
※シャッターから近い側のチェーンは引かないでください。故障の原因になります。
- (3) 任意の高さ、または上限近く（天井面またはケース面より10cmくらい下）まで開放したら、それ以上チェーンを引かないでください。

シャッターを閉鎖するとき

- (1) 天井またはケースの点検口を開けてください。
※チェーンの落下に気をつけてください。
- (2) ブレーキ解放ひもを引いてください。シャッターが下降します。
- (3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。



■ ハンドル式の場合

シャッターを開放するとき

- (1) 天井またはケースの点検口を開けてください。
- (2) ハンドルとシャッターの位置を確認してください。
【ハンドル側から見てシャッターが左にあるとき】(本図)
:ハンドルを右(時計回り)に回してください。シャッターが上昇します。
【ハンドル側から見てシャッターが右にあるとき】
:ハンドルを左(反時計回り)に回してください。シャッターが上昇します。
※点検口の枠に手が当たらないよう、注意してハンドルを回してください。
※ハンドルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。
- (3) 任意の高さ、または上限近く(天井面またはケース面より10cmくらい下)まで開放したら、それ以上ハンドルを回さないでください。

シャッターを閉鎖するとき

- (1) 天井またはケースの点検口を開けてください。
- (2) ブレーキ解放ひもを引いてください。シャッターが下降します。
※ブレーキ解放ひもはチェーン式と共通です。
- (3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。

※停電復旧後の操作方法について

停電復旧後、必ず次の(1)～(2)の操作を行ってください。(停電前の動作に戻すために必要な操作です。)

- (1) 開放ボタンを押してシャッターを全開してください。
- (2) 開放ボタンを押してもシャッターが少ししか動かない場合は、閉鎖ボタンを押してシャッターを全閉してください。

